

7. サービス作業要領

7-1. アトリバの交換

アトリバの継手は、エロクツフ継手で、セルフシール機構になっています(機能部品、エロクツフの項参照)
アトリバの交換には、エロクツフ継手の着脱作業、固定ホの着脱作業が必要なだけです、以下の点にご注意下さい。

※注) エロクツフ継手は必ず 2丁の専用スパナで着脱する事、特に油分離器～アトリバ間のエロクツフ継手は、銅配管の途中にありますので、以下の手順に従って下さい。

方法①: 右側エロクツフホティと左側エロクツフホティを 2丁の専用スパナで固定し、他のスパナ(例: 300mmモンキーレンチ等)でカップリングナットを回す。
(同時に 3丁のスパナを取扱います。)

方法②: 継手が締った状態→右側ホティを固定し、カップリングナットを半回転程度回す。(図1.)
継手が弛んだ状態→左側ホティを固定し、カップリングナットを回す。(図2.)
(2丁スパナでの取扱い)

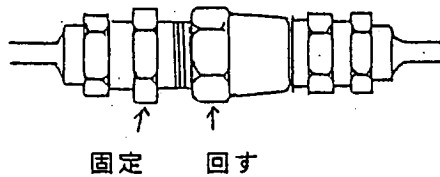


図1. 締った状態

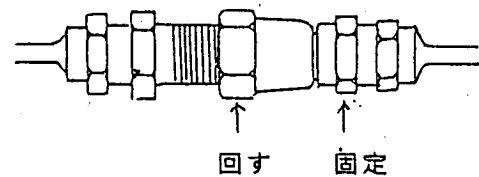


図2. 弛んだ状態

7-2. ヘリウムガスの充填、減圧 (エキスパント回路)

ヘリウム連絡ホス接続口にガスチャージ治具を取付け、充填、減圧を行ないます。

1) 充填、減圧時のガスチャージ治具接続箇所

①ガス減圧: 高圧側のヘリウム連絡ホス接続口にガスチャージ治具を取付け、ガスを放出する。

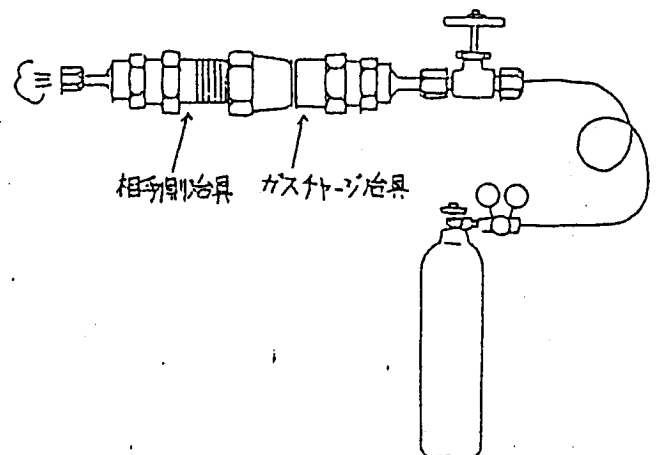
②ガス充填: 低圧側のヘリウム連絡ホス接続口にガスチャージ治具を取付け、ガスを充填する。

注) 上記の取扱を逆にすると、圧縮機内の油が圧縮機ニット内部で逆流しますので特に注意下さい。

注) ガス充填の際は、ガスチャージ治具及び、チャージホス内をヘリウムガスで置換してから行なう事

7-3. ガスチャージ治具のガス置換方法

- ① ガスチャージ治具とヘリウムガスホソハをレギュレータを介しホスで繋ぐ。
- ② ホソハのバルブを開け、ホスとガスチャージ治具内部にヘリウムガスを送る。(2次圧 2~3kgf/cm²)
- ③ チャージ治具に相手側チャージ治具を手で軽く押し込み、ガスハージする。
- ④ 相手側治具を弛めて、ガスハージを止める。
- ⑤ ③~④を2~3回繰返す
- ⑥ ガス置換完了



注): 減圧の際は、圧縮機ニットの充填圧が 0.5 kgf/cm²G以下にならない様注意の事
0.5 kgf/cm²G 以下になると、アトリバの交換が必要です(アトリバが汚染される為)